



小樽市立稲穂小学校
学校だより No.3
令和7年 6月 4日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】
りこうで たっしやで
ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



全力の頑張りとおたたかい声援…、一体感のある運動会となりました！

校長 遠藤 隆典

昨日、匿名の卒業生から学校へ電話がありました。「運動会を参観しましたが、子どもたちが勝利目指し一生懸命で、とてもいい運動会でした。それを伝えたくて…」そんなうれしい電話でした。卒業生が参観に来てくださっていたのだなあと、うれしく感じました。

開校130周年記念大運動会は、5月31日、あたたかく風もない素晴らしい天気の下、充実感・達成感あふれる中で終わることができました。この取組を通して、子どもたちには、全力を出し切り、仲間と共に最後まで協力する力を高めていく大切さを意識しやりとげるように求めてきましたが、実に素晴らしい姿をみせていました。学年を越え声援を送り、たたえ合う姿など、仲間とあたたかくかかわる姿は素晴らしく、時に感動的な姿でした。また、今年もマナー良く子どもたちに拍手と声援を送ってくださる保護者・地域の皆さまが、あたたかい一体感のある運動会を創りあげてくださいました。本当にありがとうございました。



記念種目の全校競技「おめでとう、あふれる想い130周年」では、会場全体に拍手と歓声、笑顔があふれていました。多くの先輩が学んできたこの校舎の地に130周年にふさわしい元気な姿と保護者・地域の皆さまの思いを刻むこと

ができました。ありがとうございました。

本校は、応援合戦、2つの全校競技、リレー競技など競技種目の多い構成です。「子どもたちが様々な活躍する行事に！」という教職員の願いが込められています。全児童がテキパキと進んで行動する力が不可欠なプログラムとも言えます。結果的に予定終了時刻を過ぎてしまいご迷惑をおかけしていますが、充実感・達成感を高めた運動会にすることができたと感じています。ご協力ありがとうございました。



子どもたちは日々の教育活動で成長していきます。全校で春から力を入れてきたことは、「話をしっかり聞く」「自分で考えてテキパキ行動する」ということです。そのことを全学年で毎日取り組んできたことが、この姿・行動力となっていました。特に最後の閉会式では、1・2年生も含めて、疲れていてもきちんと集合・整列し、しっかり立ち並ぶ姿に本当に感動しました。子どもたち・教職員のこの2ヵ月の頑張りとお成長を強く感じた大変誇らしくうれしい姿でした。

1学期も残り半分です。毎日の教育活動を充実させ、重点としている「子どもたちの主体的な力」を引き出し伸ばし育み、確かな資質・能力へとつなげられるように努力していきます。今一度、心理的安全性の高い集団づくりへ向け、前向きに改善・充実を図り、全ての子どもが安全・安心によさを生き生きと輝かせられるように全職員で努力して参ります。



小中連携の取組 5年生が中学校体育科教諭の陸上運動の授業を受けました！



稲穂小と西陵中は、小中一貫の様々な取組を進めています。5月16日には、体育科の先生による「かけっこ教室」の出前授業が行われました。ももを引き上げる大切さ、スタートのコツを学びました。体育の出前授業は課題のある運動などをテーマに今後行う予定です。

不審者対応&留め置き訓練 保護者のご協力に感謝！



万が一に不審者が侵入してきた際の対応として、避難訓練と留め置き訓練を毎年行っています。学校に不審者が入ることは、起こってはならない事案ですが、万が一の際の、教職員並びに児童の対応訓練を行いました。子どもたちは落ち着いてスムーズに避難移動していました。不審者の行動を止める教職員の訓練も行いました。

韓国大田(テジュン)市から教育視察団がきました！

5月28日韓国の大田市教育庁所属の幼・小・中・高の教職員45名が研修のために視察来校しました。日本教育機関体験職務研修の視察地として依頼を受けたものです。日本の教育情勢及び稲穂小学校の教育活動の取組の説



明協議や全学級の授業参観が行われました。

ドアのないオープン教室、そして、そこで集中して授業に取り組む子どもたちの様子に感心していました。また、様々な学年がクロームブックを上手に使用し授業で活用されている様子に感心していました。研修協議の中では、多くの質問が出され、代表

の方から稲穂小での視察研修はとても学びの大きい研修になりましたと感謝されました。

「アニョハセヨ！」と笑顔で話しかける子どもたちが多く、皆さん、歓迎してくれた本校の雰囲気にとっても喜び感謝していました。

130周年 稲穂小7千歴史

稲穂小グラウンドの北側には、二宮尊徳像が置かれています。100周年記念誌には、彫塑界の重鎮中野伍一氏制作で、昭和12年6月15日に除幕式が行われたことが記載されています。校舎改築にともない現在地に移転しながら、90年近くにわたり稲穂小を見守っています。



「勤勉、報徳」の象徴として二宮尊徳(金次郎)像は、かつて多くの学校の校庭に置かれていましたが、現在、市内では数校にしか残っていません。台座には、「至誠一貫」と書かれています。全校朝会で、小さな努力を積み重ねることで、大きな成果につなげた二宮尊徳の話をしました。子どもたちが、自分で頑張るべき事をこつこつ積み上げ力を付けていくことを願っています。みんなを見守る二宮さんにそんな姿をみせられるといいですね。